

GUNDAM EXIA

IGNITION MODE

CELESTIAL BEING MOBILE SUIT
MODEL NUMBER: GN-001 TOTAL HEIGHT: 18.3m
TOTAL WEIGHT: 57.2t WEAPONS: GN SWORD/GN BLADE
GN BOW/GN DARTER/GN DAGGER/GN VULCAN/GN SHIELD



●写真はイメージです。この商品には、MGガンダムエクシア イグニッションモードが1体のみ入っています。



PAINTING GUIDE ※よりリアルに仕上げたい場合は、下の基本色をご覧ください。 ※塗装にはより安全な「水性塗料」のご使用をおすすめします。
●ABS樹脂部分への塗装は破損する恐れがありますので、塗装はお勧めできません。 ※カラー配合は参考値であり、写真とカラーガイドの色は異なる場合があります。

<p>ガンダムエクシア</p> <ul style="list-style-type: none"> 本体等ホワイト部の塗装色。ホワイト(100%) + ネービーブルー(少量) 内部メカ等グレー部の塗装色。ニュートラルグレー(90%) + ブラック(10%) 胸等ブルー部の塗装色。コバルトブルー(80%) + スカイブルー(20%) + ブルー(少量) アンテナ等イエロー部の塗装色。ホワイト(50%) + イエロー(30%) + オレンジイエロー(20%) 	<p>腹等レッド部の塗装色。モンザレッド(75%) + ホワイト(25%) + ブルー(少量) + ニュートラルグレー(少量)</p> <p>目等クリアグリーン部の塗装色。クリアグリーン(60%) + クリアブルー(20%) + クリア(20%)</p> <p>ガンダムエクシア リベア</p> <ul style="list-style-type: none"> GNソード等シルバー部の塗装色。シルバー(100%) マント部の塗装色。オリーブドラブ(2)(100%) 	<p>刹那・F・セイエイ</p> <ul style="list-style-type: none"> スーツ等ダークブルー部の塗装色。ブルー(95%) + ホワイト(5%) + ブラック(少量) スーツ等ブルー部の塗装色。コバルトブルー(70%) + ホワイト(30%) 肩、ライン等ホワイト部の塗装色。ホワイト(100%) 顔、肌色部の塗装色。はだ色(100%) 胸等カーキグリーン部の塗装色。カーキグリーン(65%) + ホワイト(35%) 髪ダークグレー部の塗装色。ミッドナイトブルー(100%) 	<p>カレル</p> <ul style="list-style-type: none"> 本体等グレー部の塗装色。ニュートラルグレー(70%) + ホワイト(30%) + グリーン(少量) 本体ブラック部の塗装色。ブラック(100%) ハロオレンジ部の塗装色。オレンジ(60%) + ホワイト(30%) + イエロー(10%)
---	--	---	--

ONE POINT STEP

スミ入れてみよう!!
ガンダムマーカー/スミ入れ用(別売り)などを使用して、ミノの所に線を引くことで、模型が引き締まります。

金属表現をしよう!!
メタリック系のガンダムマーカー(別売り)を装甲内部に使用することで、よりメカニカルな仕上がりに。

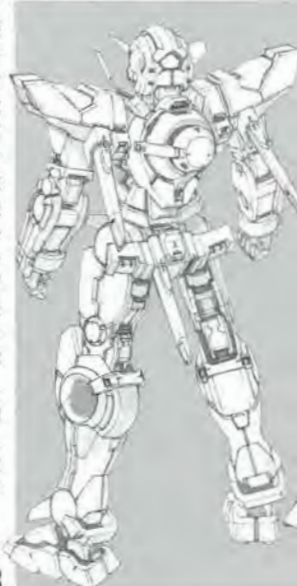


ソレスタルビーイング
格闘戦用モビルスーツ
GN-001「ガンダムエクシア」イグニッションモード
1/100スケール マスターグレードモデル



CELESTIAL BEING MOBILE SUIT GN-001 GUNDAM EXIA

武力を使って紛争の根絶を目指したソレスタルビーイング。そのために必要とされたのが圧倒的な力を持つ機動兵器ガンダムである。ガンダムは少ない機体数で、世界を相手に勝利しなくては、紛争に対する抑止力となり得ない。ガンダムは、太陽炉という無限にエネルギーを生み出すエンジンユニットを持ち、そこから発生するGN粒子による機体制御とビーム兵器の実用化を成し遂げていたが、その開発は困難を極めた。組織では、理念に共感する優秀な科学者をスカウトすることで百年は進んだ技術を持っていたが、あまりにも要求される技術的ハードルが高かった。そのためガンダムの開発は段階を経て行われることとなった。第一世代ガンダムは機動兵器としての基本性能の開発に重点が置かれた。完成した0(オー)ガンダムは、太陽炉を搭載したモビルスーツとしての基本システムを完成させ、ビームを使用した銃と剣を搭載した。第二世代ガンダムからは、実際の武力介入が必要とされる能力別の機体開発が行われ、計四機の機体が製造された。ここで得られたデータをベースに実際の武力介入に使用される機体として製造されたのが第三世代ガンダムであり、GN-001ガンダムエクシアは、その中の一機であった。エクシアの設計ベースには、第二世代ガンダムのGNY-001ガンダムアストレアが使われた。元々汎用機として開発されたアストレアであったが、人間に近い運動性は格闘戦に特化したエクシアにも通じていた。本機は、『セブンソード(七本の剣)』の開発コードを持ち、あらゆる条件下での格闘戦を想定していた。武力介入の初期段階において、ユニオン軍、AEU軍、人革軍の三軍ともにガンダムの性能に対抗できるモビルスーツは存在せず、ガンダムは圧倒的なまでの武力を世界に見せつけることになる。中でも、接近戦を多用し、敵を派手に斬り捨てるエクシアの戦術は、非常にインパクトがあり、世界に対する『ガンダムという恐怖』を植え付けるのに大きく貢献した。このことは計画予備段階から想定されており、それゆえに組織の戦術予報士メラギ・李・ノリエガも、ソレスタルビーイングのお披露目となったAEU軍の新型機イナクトの発表会場への介入行為にエクシアを使ったのだ。一方で、ガンダムは少数で多数の敵と戦うことを要求された。無限のエネルギーを持つガンダムだが、瞬間的に生産出来るエネルギー量には限りがあった。その点で実体剣のGNソードをメイン武装とするエクシアは、消費エネルギー量が低く、長期戦においても優位な機体であった。もっとも多くの戦闘においてエクシアの圧倒的な性能を目の当たりにした敵は、戦意を喪失し、一部のエースパイロットとの戦闘や、三軍合同演習時のような異でもなにかぎり、長期戦になるようなことはまれであった。



Illustrated by Kanetake Ebikawa

GUNDAM EXIA REPAIR

[ガンダムエクシア リペア]

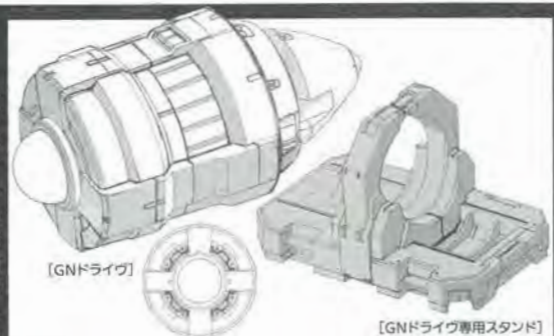


国連軍との最終決戦において、突如現れたグラハム・エーカーの駆るGNドライブを搭載したフラッグカスタムIIとの戦いになった刹那。これを打ち倒したもののエクシアは大きく傷ついてしまった。その後、刹那は四年間の放浪の間に、自らの手でエクシアを修理した。切り落とされた頭部は、なんとかつなぎ合わせたものの、右側が半壊しており、失ったカメラ機能の代わりにティエレンのカメラユニットを内蔵している。また、左手を失っていることを敵に察知されないようにするため、左肩には大きな布を取り付け破損部を隠している。その他、各部装甲の欠損、右肩のクラビカルアンテナの欠如に加え、メイン武装であるGNソードの刃は、先がかけ落ち、全体の刃こぼれも目立つ状態である。稼働していることが不思議とも言える機体状況であるが、それでもガンダムの力、変革の力を信じる刹那は、世界の歪みの象徴であるアロウズに対し、この機体で果敢に挑んでゆく。

GN DRIVE

[GNドライブ]

ガンダムの根幹を成すエンジンユニット。イオリア・シュヘンベルグが基礎理論を考えだし、その意志を受け継いだソレスタルビーイングの科学者たちによって完成した。開発のためには、木星環境が必要であり、有人木星探査隊に偽装した組織のメンバーによって製造が行われた。GNドライブは、無尽蔵にGN粒子を生み出し続ける。発生したGN粒子は一種の光子であり、『光を生み出し続ける炉』であることから『太陽炉』とも呼ばれるようになった。ソレスタルビーイングが所有するのは、五基のみだが、これは武力介入に必要な最低限の数である。数を制限した理由は、その製造が難しかっただけでなく、大量生産によって敵にドライブが渡る危険性を防ぐためでもあった。GNドライブ搭載機同士による戦闘は熾烈を極めることが分かっており、紛争根絶を掲げる組織にとって、それは避けねばならない事象だった。最終的に裏切り者アレハンドロ・コーナーによって開発されたGNドライブ(T) (疑似太陽炉) がもたらした、新たな戦局をみれば、この判断が正しかったことが分かる。エクシアのGNドライブは、安全装置を開放することで一時的にブースト状態とすることが可能であったが、通常、使用は推奨されず、ほとんど使われることはなかった(本システムは、リペアIIで使用されている)。



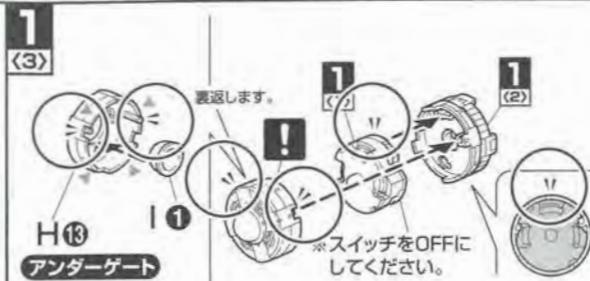
[GNドライブ]

[GNドライブ専用スタンド]

組み立て前の基本説明

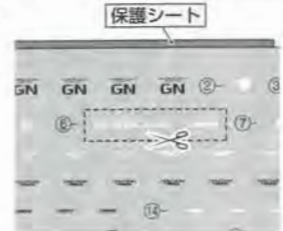
部品の向きに注意してください

※組み立て図中にVのついている部品は、形状や向きに注意して組み立ててください。



ガンダムデカールの貼りかた

①ガンダムデカールは、転写するマークを保護シートと一緒にマークより大きめに切り出してください。

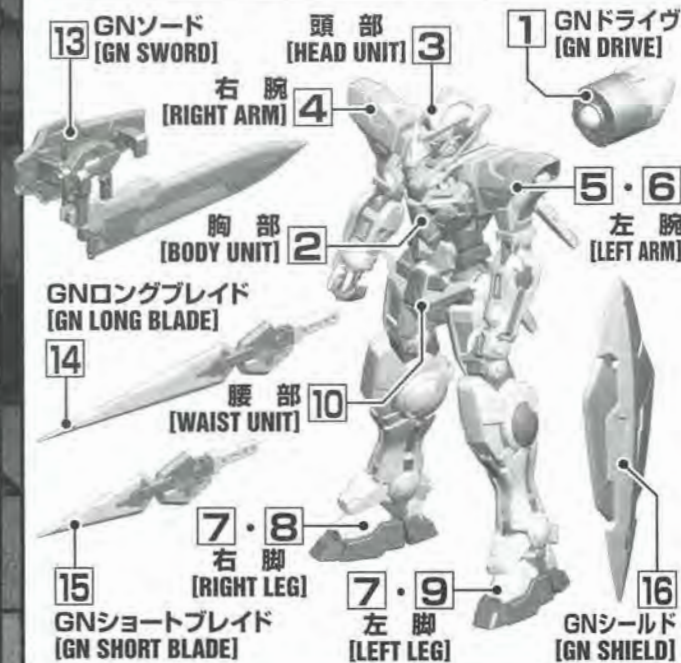


②保護シートをはがし、貼る位置を決めてから、ずれないようにセロハンテープ等で固定し、マークの上からボールペン等の先端の丸い物でこすりつけて定着させます。

③シートを静かにはがし、デカールが定着していない部分が残った場合はシートを元に戻し、その部分を再度こすりつけます。

※デカールを貼り間違えた場合は、セロハンテープ等ではがしてください。

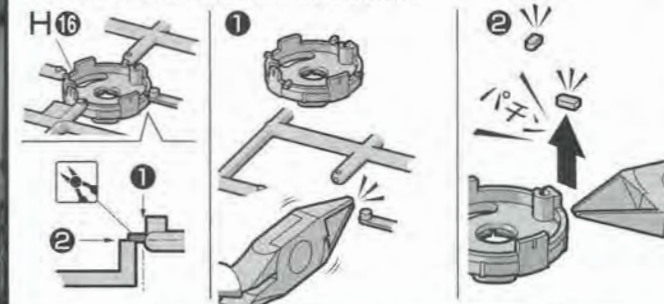
説明書をよく読んで完成させましょう



アンダーゲートの切り取りかた

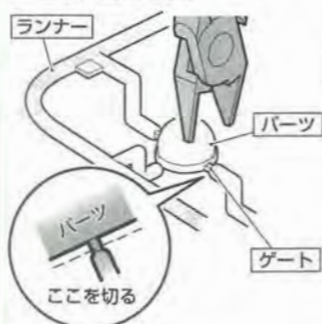
▶アンダーゲート マークの付いた部品は、下の図のようにキレイに切り取ります。

※Hパーツの一部は下の図のように切り取ります。

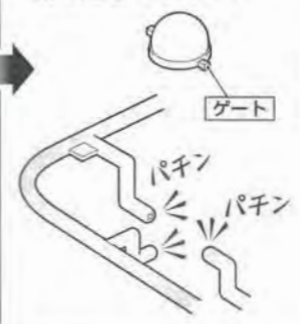


パーツの切り取りかた

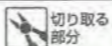
①まず、パーツから少し離れた位置にニッパーの刃を入れて切り取ります。



②パーツを切り離して持ちやすくしたところでゲートの処理に入ります。



③ニッパーの刃をパーツに密着させてゲートを切り取れば、きれいに仕上がります。



注意

必ずお読みください

- この商品の対象年齢は15歳以上です。〈鋭い部品がありますので、安全上15才未満には適しません。〉
- 小さな部品があります。口の中には絶対に入れてください。窒息などの危険があります。
- 誤飲の危険がありますので、3才未満のお子様には絶対に与えないでください。
- ビニール袋を頭から被ったり、顔を覆ったりしないでください。窒息する恐れがあります。
- 小さなお子様のいるご家庭では、お子様の手の届かないところへ保管し、お子様には絶対に与えないでください。《電池を誤使用すると発熱・破裂・液漏れの恐れがあります。下記に注意してください。》
- 万一、電池から漏れた液が目に入った時は、すぐに大量の水で洗い、医師に相談してください。ひふや服に付いた時は水で洗ってください。
- +- (プラスマイナス) を正しくセットしてください。
- 遊んだ後は必ずスイッチを切り、電池をはずしてください。
- ショートさせたり、充電、分解、加熱、火の中に入れてたりしないでください。
- 先端は形状再現上とがっており危険です。取り扱いや保管場所に注意してください。思わぬケガをする恐れがあります。

※このキットの組み立てには+(プラス)ドライバーを使いますので別にご用意ください。

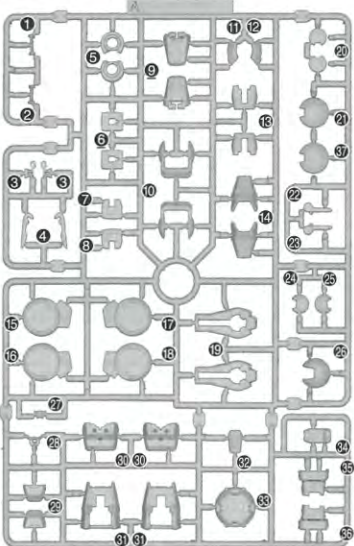
〈組み立てる時の注意〉

- 組み立てる前に説明書をよく読みましょう。
- 部品は番号を確かめ、ニッパーなどできれいに切り取りましょう。切り取った後のクズは捨ててください。
- 部品の加工の際の刃物、工具、塗料、接着剤などのご使用にあたっては、それぞれの取扱説明書をよく読んで正しく使用してください。
- 部品の中には、やむをえず、とがった所がありますが、気をつけて組み立ててください。
- 塗装にはより安全な「水性塗料」のご使用をおすすめします。
- 組み立てるのキツイ部分は、メッキ部分をはがして組み立ててください。
- ※ABS部分への塗装は破損する恐れがありますので、塗装はおすすめできません。

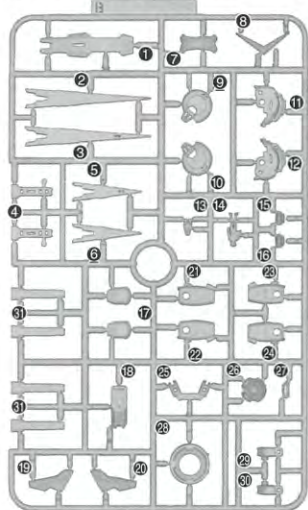
パーツリスト

(X印は使用しないパーツです。)

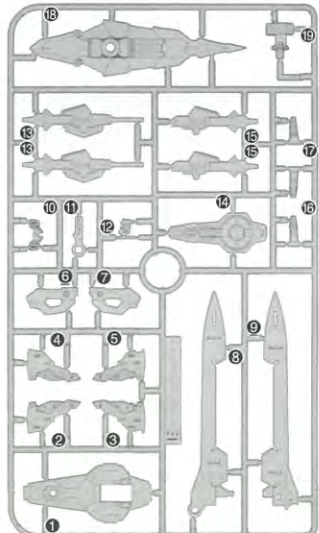
Aパーツ (スチロール樹脂: PS)



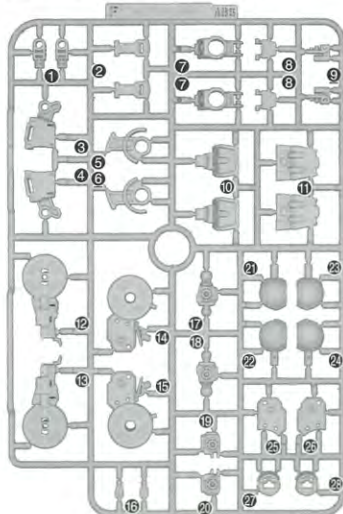
Bパーツ (スチロール樹脂: PS)



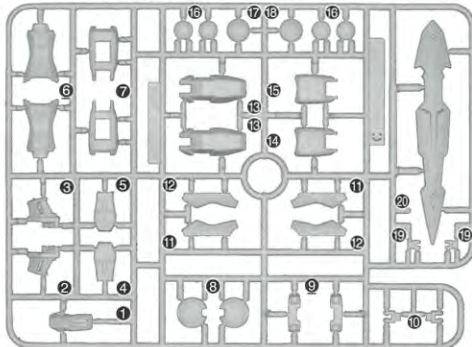
Eパーツ (スチロール樹脂: PS)



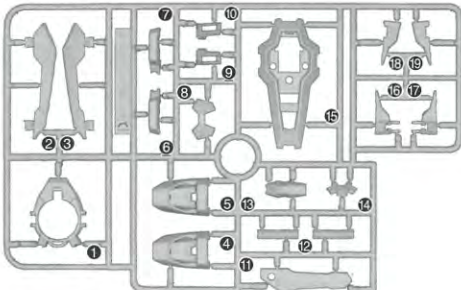
Fパーツ (ABS樹脂: ABS)



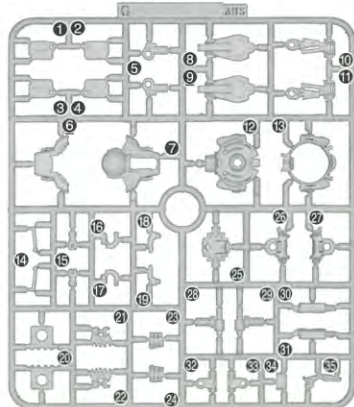
Cパーツ (スチロール樹脂: PS)



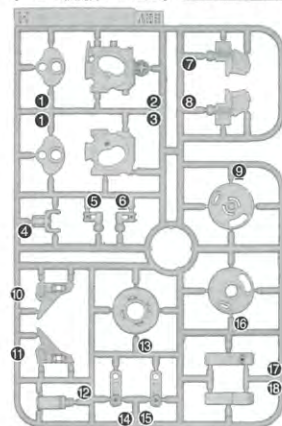
Dパーツ (スチロール樹脂: PS)



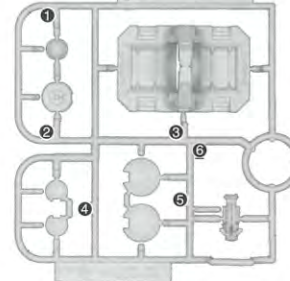
Gパーツ (ABS樹脂: ABS)



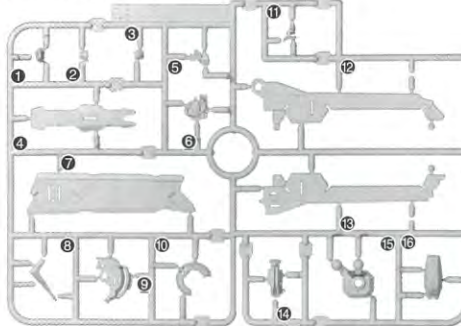
Hパーツ (ABS樹脂: ABS) アンダーゲート有り



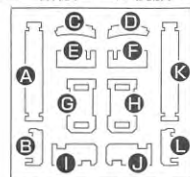
Iパーツ (スチロール樹脂: PS)



Lパーツ (スチロール樹脂: PS)



ホログラムパーツ (エチレン-酢酸ビニル樹脂: EVAC)



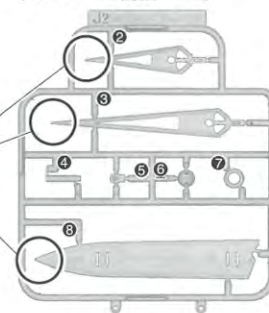
※ホログラムパーツはツヤのある面が裏側になります。組立てには表裏を間違えないように気をつけてください。

J1パーツ (スチロール樹脂: PS)

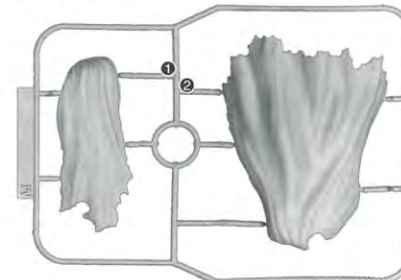


△形状再現上とがっており危険です。注意して組み立ててください。

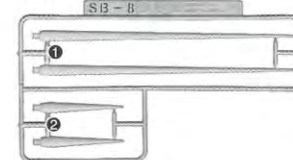
J2パーツ (スチロール樹脂: PS)



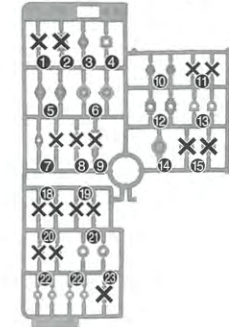
Mパーツ (スチロール樹脂: PS)



SB-8パーツ (スチロール樹脂: PS)



PC-130B (ポリエチレン: PE)



- カラーシール.....1枚
- マーキングシール.....1枚
- ガンダムデカール.....1枚
- ビス.....2本
- LEDライトユニット.....2個 (スチロール樹脂: PS)

1 2 GN DRIVE / BODY UNIT



<GN DRIVE> <BODY UNIT>

・組立1・2で使用するパーツ

A B C D E H I
 J1 J2 L
 G
 アンダーゲート用
 ホログラムパーツ PC-130B
 ・カラーシール ・ビス (x2) ・LEDライトユニット (x2)

・本商品は、ガンダムエクシアとガンダムエクシアリペアとのコンバーチブルキットとなっております。どちらかを選択して組み立ててください

1 (1) x2 【GNドライブの組立】 GN DRIVE UNIT

LEDライトユニット

ボタン電池 (LR41) (別売り)

ビス

※LEDライトユニットを点灯させる場合は、ボタン電池 (LR41) (4個) 別売りをご使用ください。

※点灯させない時は、電池をはずします。

点灯テスト



点灯しない場合

1. 電池の+ (プラス) マイナスは合っていますか。
2. 電池は古くありませんか。
3. 電池ボタンはしっかりと閉まっていますか。
4. ビスはしっかりと締まっていますか。

1 (2) アンダーゲート

H9

H16 アンダーゲート

H13 アンダーゲート

※スイッチをOFFにしてください。

I2

J27

※きれいに切り取ります。

J26

B26

※きれいに切り取ります。

※スイッチをOFFにしてください。

※1を裏返したものを

スイッチON

2 (1) 【胸部の組立】 BODY UNIT

※ホログラムパーツは、ゆっくりときれいに切り取ってください。ツヤのある面が裏側になります。組立てる時に表裏のはめ込みに気をつけてください。

短い方

※奥までしっかりと、はめ込みます。

※ツヤのある面

短い方

※奥までしっかりと、はめ込みます。

ホログラムパーツ E

ホログラムパーツ F

2 (2)

B25 G12 G34

G7

※GNドライブを点灯させる場合は、こちらを貼ります。

※ホログラムパーツをはさまないように、位置に注意してください。

裏返します。

裏返します。

2 (1) を裏返したものを

2 (3)

G6

※ホログラムパーツをはさまないように注意してください。

前

G26

G27

PC14

2 (4)

〈上から見た図〉

E16

D1

裏返します。

〈横から見た図〉

B27

E17

〈横から見た図〉

2 (5)

裏返します。

A33

※リペア用

D13 G35

L16

※スキマが空きます。

〈横から見た図〉

A26

裏返します。

〈横から見た図〉

2 (6)

D14

A11

A12

2 (7)

A22

D9

A2

※リペアでは組み立てません。

A23

G30

A0

D10

D7

D6

2 (6)

2 (8)

A35

D8

A36

2 (7)

A4

※リペアでは組み立てません。

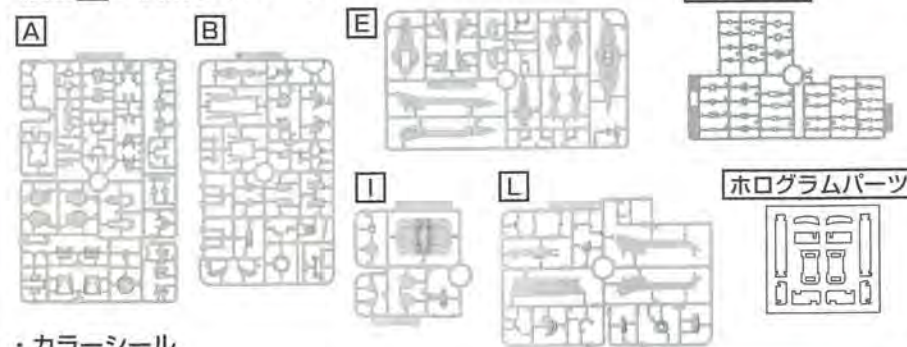
〈リペア完成写真〉

※シールは貼ってありません。

3 HEAD UNIT



・組立3で使用するパーツ



・カラーシール

※ノーマルの頭部を組み立てる場合は3(1)、リペア頭部を組み立てる場合は3(2)から組み立ててください。

3 (ノーマル頭部の組立)

(1)

※ホログラムパーツは、ゆっくりときれいに切り取ってください。ツヤのある面が裏側になります。組立てる時に表裏のはめ込みに気をつけてください。

※シールは先に貼ります。

! : : ホログラムパーツD
 : ホログラムパーツC

表 ↑
 ※ツヤのある面が裏

PC3

A27, A28

(2)

※きれいに切り取ります。

裏返します。

(1)

※きれいに切り取ります。

! : : B16

(3)

※きれいに切り取ります。

! : A25 切り取ります。 ! : B16

〈上から見た図〉

3 (リペア頭部の組立)

(1)

※ホログラムパーツは、ゆっくりときれいに切り取ってください。ツヤのある面が裏側になります。組立てる時に表裏のはめ込みに気をつけてください。

※シールは先に貼ります。

! : : ホログラムパーツD
 : ホログラムパーツC

表 ↑
 ※ツヤのある面が裏

PC3

L2, L5, L11

B10

A3

※きれいに切り取ります。

(3)

裏返したものを

! : L3

(4)

※きれいに切り取ります。

! : B15

〈上から見た図〉

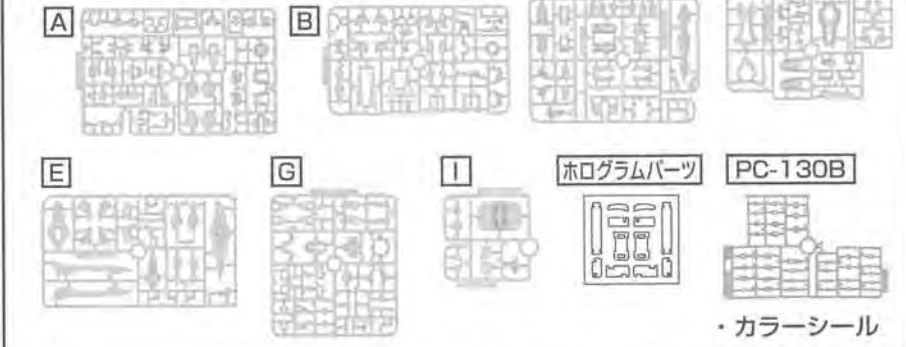
〈リペア完成写真〉

※シールは貼ってありません。

4 5 6 ARM UNIT



・組立4・5・6で使用するパーツ



・カラーシール

4 (右腕の組立)

(1) RIGHT ARM

G3, G6, G14, G4, G11

〈裏から見た図〉

4 (2)

(2)

※ホログラムパーツは、ゆっくりときれいに切り取ってください。ツヤのある面が裏側になります。組立てる時に表裏のはめ込みに気をつけてください。

! : : ホログラムパーツB

表 ←
 ※ツヤのある面

4 (1)

PC12

B24

PC13

4 (3)

(3)

※きれいに切り取ります。

! : A5

※奥までしっかりと、はめ込みます。

(4)

※リペアでは組み立てません。

! : : ホログラムパーツK

※ホログラムパーツKは指などで曲げて、クセをつけておいてください。

表 ←
 ※ツヤのある面

PC13

B17

(4)

1, 2, 3

(5)

G2, G4, G15, G24, G19, G16, A7

(6)

A6, E4, G20, E6

4 (3), 4 (4), 4 (5)

※上の図は各パーツを取り付けた参考例です。実際には多少異なります。

(7)

D5, D18, D16, C19, B31

4 (6) を裏返したものを

※穴のある方

※リペアでは組み立てません。

〈リペア完成写真〉

※シールは貼ってありません。

FIGHT'S ON

DOCUMENTARY PHOTOGRAPH



Celestial being ~ソレスタルビーイング~ アフリカの軌道エレベーターに近接した軍事基地において、AEU軍による新型モビルスーツの発表会が行われていた。完成した機体イナクトは、対立するユニオン軍や人革軍の主力モビルスーツを凌駕する性能を有する。事実とはもかく、そのようにアピールするために世界中の軍事関係者やマスコミが集められていた。新型機のパイロットはAEU軍が誇るエース、パトリック・コーラサワー。彼は自信を持って新型機イナクトを操って見せた。だが、事態が急変する。突如謎のモビルスーツが現れたのだ。自信に満ちたパトリックは、それを獲物だと認識した。「おいおい、どこのどいつだ？人様の領土に土足で踏み込んだ。ただで済むわけねーよなッ!」すぐさまソニックブレードで斬りかかる。謎の機体は、それを軽々と避け、反撃してきた。イナクトは無様に、腕を、頭部を斬り捨てられてしまう。現場に居合わせた全ての者が驚愕した。その中で、ユニオン軍のグラハム・エーカーは冷静に謎の機体を観察していた。そしてその頭部に「GUNDAM」の文字を見つける。これが世界に対するガンダムへのデビューであり、ソレスタルビーイングのガンダムエクシアの初戦であった。



Angels again ~天使再臨~ 国連軍との戦いにソレスタルビーイングが敗れ四年の月日が流れた。その間、姿を消していた刹那は、半壊したエクシアと共に、自分たちの戦いによって世界がどう変化したのかを見定めようとしていた。だが、刹那の期待とは裏腹に世界は彼に悲しい現実を突きつける。アロウズと呼ばれる政府直属の軍が、力で人々を押しさえつけ、反連邦に荷担する人々を無差別に殺戮していた。「変わっていない……世界は未だ、悪意に満ちている……!」工業コロニー「プラウド」で行われたアロウズによる掃討作戦に介入する刹那。彼は半壊したエクシアを自らの手で修理(リペア)していた。しかし、最強を誇ったガンダムも、片腕を失い、GNソードの刃も半分で折れていた。一方で、アロウズは最新鋭疑似太陽炉搭載機アヘッドを有する。アロウズの小隊リーダー、ジニンが叫ぶ。「ガンダムとはいえ所詮は5年前の機体。最新鋭であるアヘッドの敵ではない!」アヘッドとジングスIII二機がエクシアリペアに襲いかかる。戦いに対する強い目的を持つ刹那であったが、機体の持つ性能差は明らかであった。やがて残されていた右腕さえも切り落とされてしまう。それでも刹那は一歩も引かない!

●写真はイメージです。

MECHANISM and WEAPONS GUIDE

格闘戦に特化した機体であるエクシアは、元々汎用機であったアストレアをベースとしている。これは、エクシアが武装面においては『格闘戦』に特化しているものの、機体の基本性能では、汎用的であることを示している。その証拠に他のガンダムではオミットされた『人間と同等の可動範囲』を実現するための機体構成が、エクシアには残されている。なお、他のガンダムでは、可変機能を持つキュリオスをはじめ、遠距離戦を主体とするデュナメスやヴァーチェなどは、エクシアほどの可動範囲を持たない(これらはデメリットではなく、必要とされない故に採用されていない)のであり、逆に言えば、格闘戦を主体とするエクシアには人間と同じ可動範囲が求められたのである)。エクシアの基本フレームは、初期の武力介入に使用された四機のガンダムの中で、もっとも複雑な構造を持ち、同時に広い可動領域を実現していた。これは格闘戦においてエクシアに優位性をもたらすものであったが、可動にともなう装甲の細分化に加え、動きによっては装甲されていない関節部が露出するなど、運用上のデメリットも存在していた。これをカバーするため、エクシアには専用のGNシールドが装備されていた。運用中に可動範囲を狭めないため、通常時はコンパクトなサイズでありながら、必要に応じて防御面を広く展開することが可能であった。同様にエクシアにとって最も大きな武装であるGNソードも、その刃の部分折りたたむことが出来た。エクシアの外見で目を引くのが、機体各部に走るコードだ。特に肩から腕に伸びる物は、他の機体には見られない形状である。このコードはGN粒子を大量に、そして瞬時に機体各部に送るためのシステムであり、ガンダム全機に採用されている。これらは機体各部へのエネルギー供給を行うだけでなく、GN粒子による質量軽減効果を使った姿勢制御に活かされている。エクシアでは、敵と近接した状態での戦闘が多用されるため、機体外部に多くのコードを展開し、他のガンダムよりもミニマムな姿勢制御を実現している。ただし、これは防御面では危険なシステムであり、後にエクシアリペアIIへと改良された際には、装甲内にコードの多くが格納されることとなる。

HEAD UNIT

人間によく似たガンダムの頭部は、人間と同じく機体全体の制御に関与する機能が集約されている。頭部アンテナは、レーダー索敵機能と通信機能を含む。また、ウェーダとのリンク(量子通信)を行うためのブラックボックスも搭載されている。エクシアを代表とする第三世代ガンダムの頭部アンテナには、量子制御能力は試験的に導入されているものの、そのほとんどは肩に設置されたクラビカルアンテナに頼っている。余談となるが、エクシアの頭部デザインは、初期ソレスタルビーイングで採用されていたガンダムマスターのパイロットスーツのヘルメットに似せて作られている。これはマスター=ガンダムという意思を表現したものであると思われる。

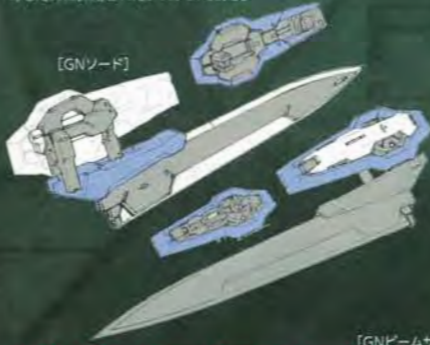
LEG UNIT

ガンダムにはGN粒子による機体の質量軽減効果がある。これは、ただ機体を軽くするだけではなく、任意に機体各部の質量比率を変化させることで、空中での慣性をともなう旋回性能や、宇宙空間でのAMBAC(アンバック=能動的質量移動による自動姿勢制御)を自在に制御することが可能となる。これにより機体は「移動のために歩く」必要はない。一方で、格闘戦用機として人間に近いアクションを要求されるエクシアでは、人間と同等の関節可動を実現している。結果として、可動範囲確保のため装甲が他のガンダムより細かく分割されており、ポーズによっては一部の内部構造が露出することもある。防御力は低下するが、それを補う機動性を獲得することで、被弾率は四機のガンダムの中で最も低い。



GN SWORD

エクシアのメイン武装。右腕に装着される。セブンスソードの中で最も巨大であり、刃はエクシアの腕よりも長い。使用時には刃の表面がGN粒子によってコーティングされ、より鋭い切断能力を得ることが出来る。この機能はオフにして使うことも可能であり、短剣、まったく粒子消費することなく使用可能な格闘武器となっている。ただし、その巨大さゆえに狭いバトルフィールドでは使用出来ない。また、ライフルモードへ変形させることでビームライフルへと変貌する。これは格闘戦に特化したエクシアにとって出来るだけ被害を減らし、機体の自由度を高めるために採用されたシステムである。



GN BEAM SABER/DAGGER

抜きはなつと、GN粒子による刃が鋭れる格闘兵器。実剣ではなく純粋なビームによる剣である。高い威力を持つ上、収納時には刃の部分が無くなるためミッション中に邪魔にならない。一方で、大気の状態やビーム放射により威力が軽減する弱点もある。また、実剣と違い、敵を引っかけたり、剣で押すなど物理的な使用が不可能である。肩に装着されているのがビームサーベルであり、その名が示すとおり剣として使用される。肩に装着されるのがビームダガーで、サーベルより刃が短い分、離れた敵に投げつけて使用するのに適している。両者は本来は同一の装備だが、機能調整によって特性を変えられている。マスターがコクピット内から再調整することで、両者の機能を入れ替えることも出来る。

GN LONG BLADE / GN SHORT BLADE

GNロングブレイドを左腕、GNショートブレイドを右腕に装着する。刃をGN粒子で包み込むことにより、真真正正な切断能力を発揮する。エクシアの七本の剣の中で、最も開発に時間がかかった装備であり、ソレスタルビーイングの武力介入開始に間に合わなかった。実は本装備には隠された「用途」があり、そのためのステータスをクリアするために長い調整期間を必要とした。その「用途」とは、『太陽炉搭載機との格闘戦』であり、それが意味するものは、『裏切り者の機体との格闘』であった。本装備は、GNフィールドを貫き、切り裂く能力を持ち、実際に裏切り者であるアレハンドロ・コーナールの駆るアルヴァアロン(アルヴァアロン)のGNフィールドを切り裂くこととなる。



GN SHIELD

高い強度を持つEカーボン素材の盾。表面にGNフィールドを展開し高い防御能力を実現している。エクシアからのパワー供給を受けている限り、通常兵器でこのシールドを破ることは難しい。エクシアを初めとするガンダムは、同様の性能を持った装甲で包まれており、一見すると必要にも思える。しかしながら、自由に可動可能な腕に装着された盾は、胴体が可動することで、攻撃のショックを吸収する役割を持つ。またエクシアの盾は、左右のパーツが可動し、広範囲を防御することも可能となっている。広げた形態は物理的な防御力が低下するため、GNフィールド効果を高めるために使用する仕様となっており、消費粒子量が膨大する。

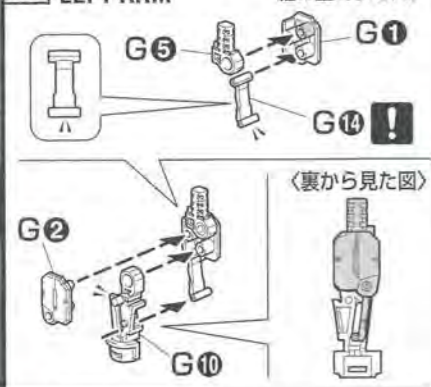
GN CONDENSER

ガンダムに搭載された太陽炉は、無定態にエネルギーを生産することが出来る。しかしながら、一定時間に生産出来るエネルギーには上限があるため、戦闘中の連続したビーム兵器の使用など、一度に大量のエネルギーを消費する場合、パワー切れを起こす可能性がある。これを回避するため、ガンダムの各部には太陽炉から生産されたGN粒子を溜めておく、GNコンデンサーが搭載されている。ガンダムが非活動中でも太陽炉は粒子生産を続け、余剰粒子がコンデンサー内に溜められる。コンデンサーには、粒子量とその充満率をデータ表示する機能があるが、これは僅上必要とされるものである。ミッション中には、この表示機能を友軍機に対する暗号通信にも転用している。コンデンサー技術を採用し、大型化コンデンサーを太陽炉の代わりに搭載し、予め蓄えた粒子で起動させる機体も製造されている。

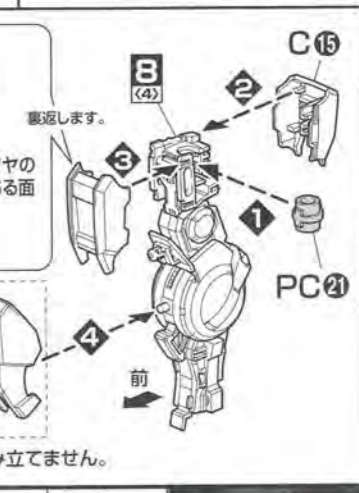
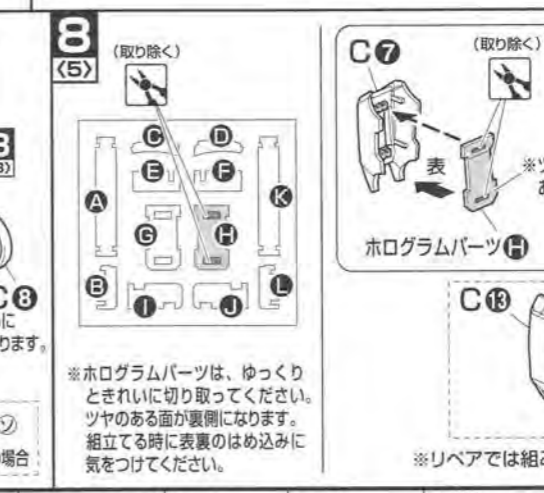
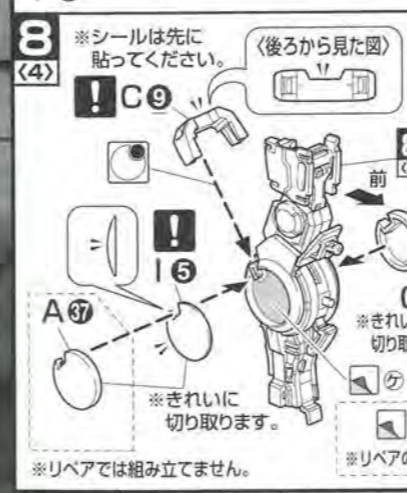
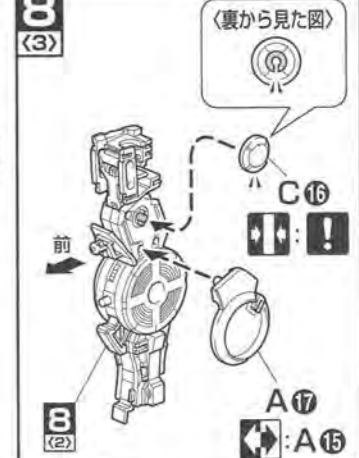
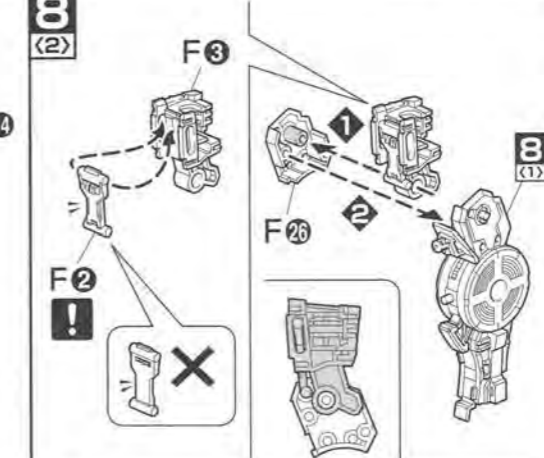
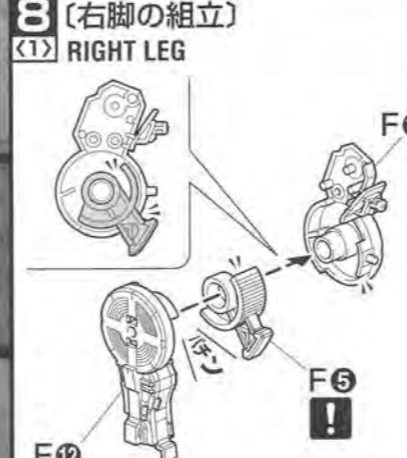
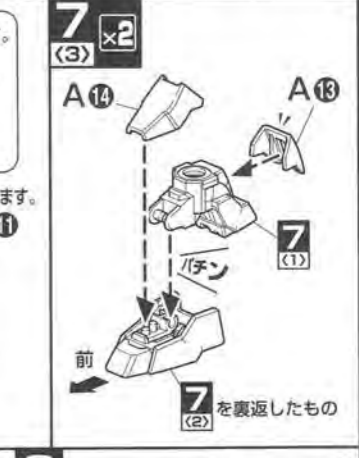
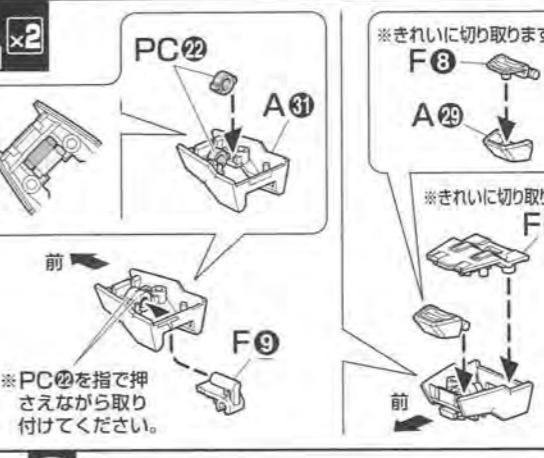
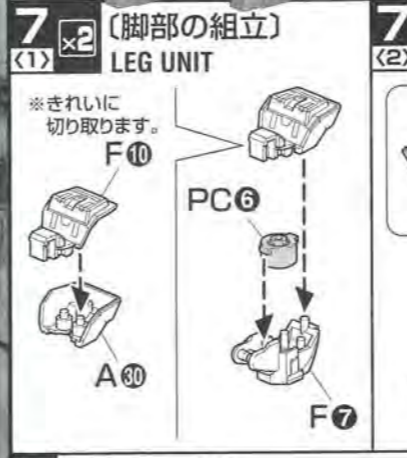
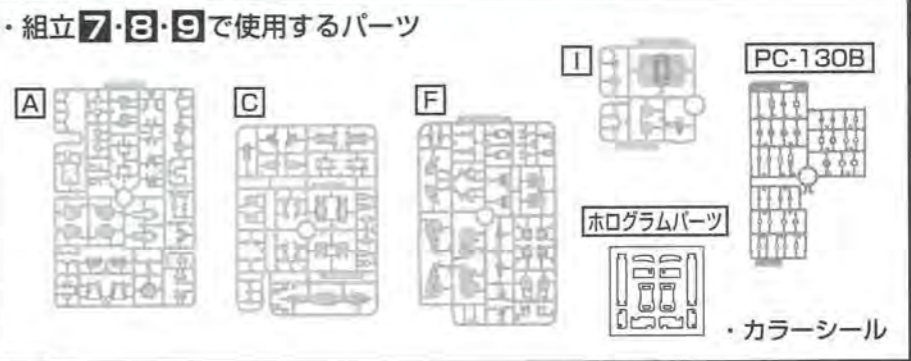
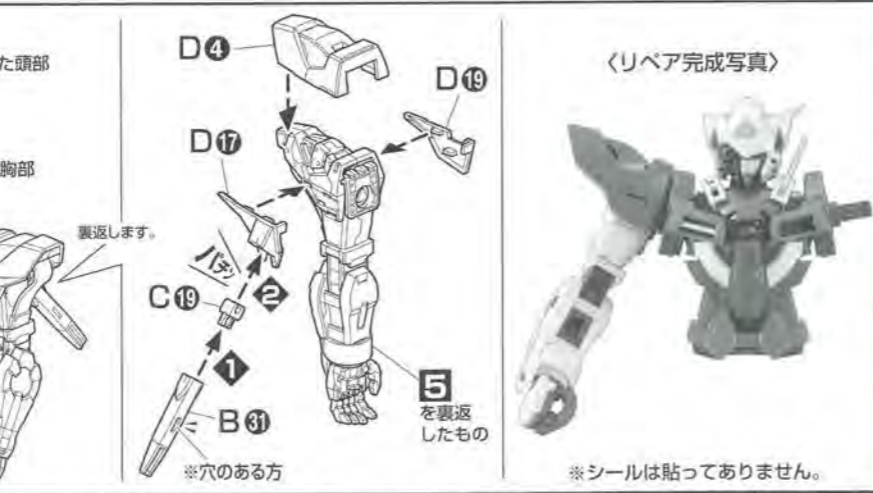
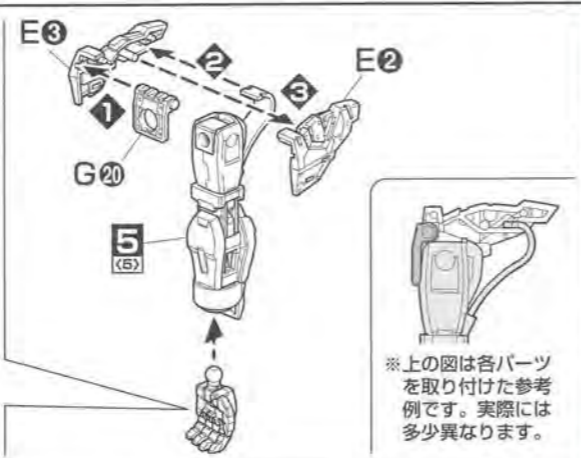
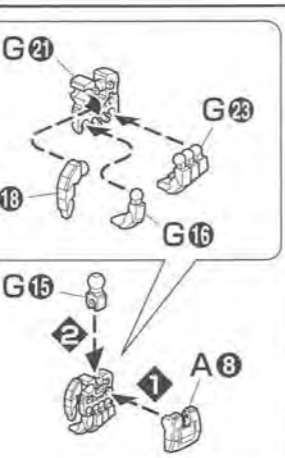
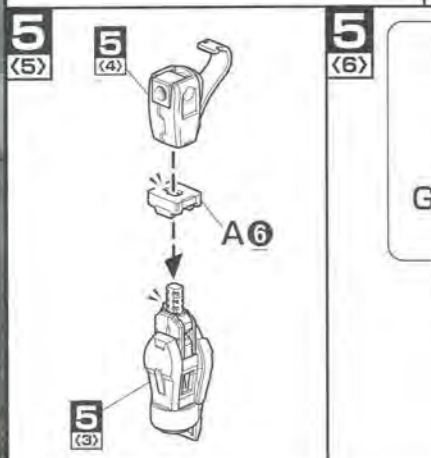
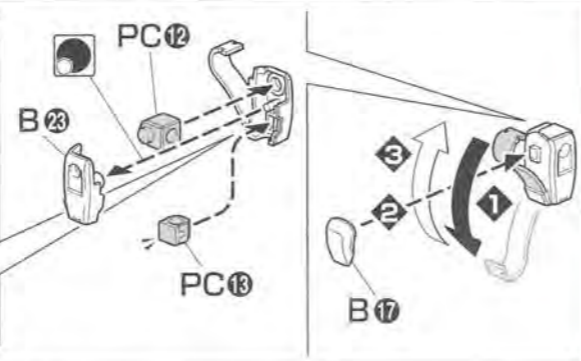
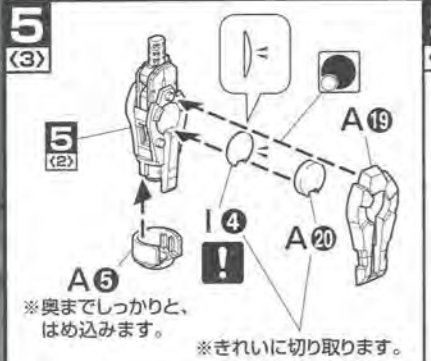
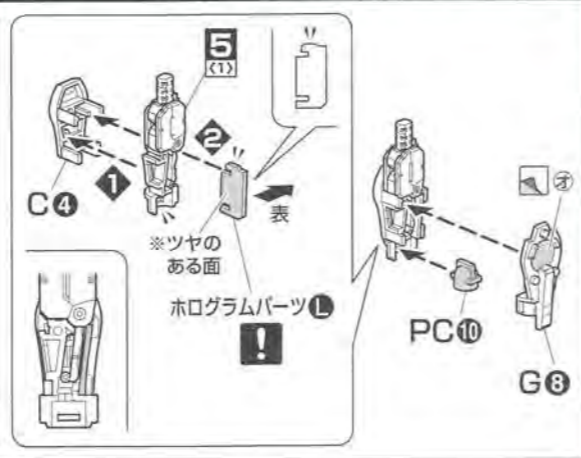
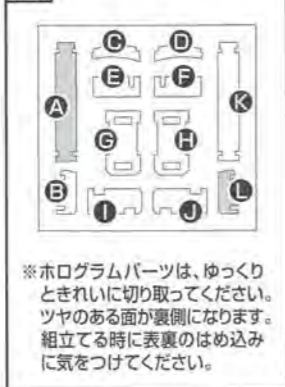


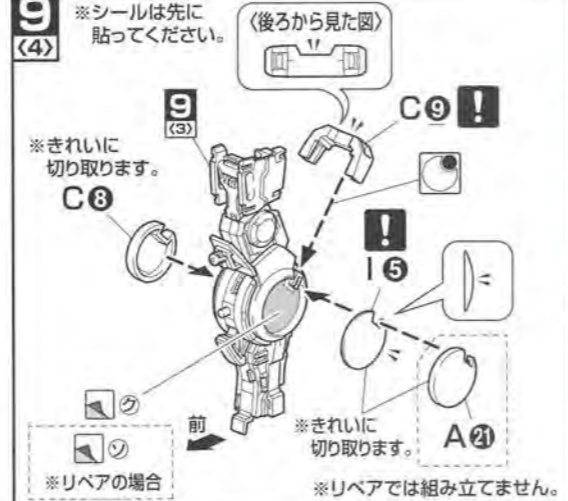
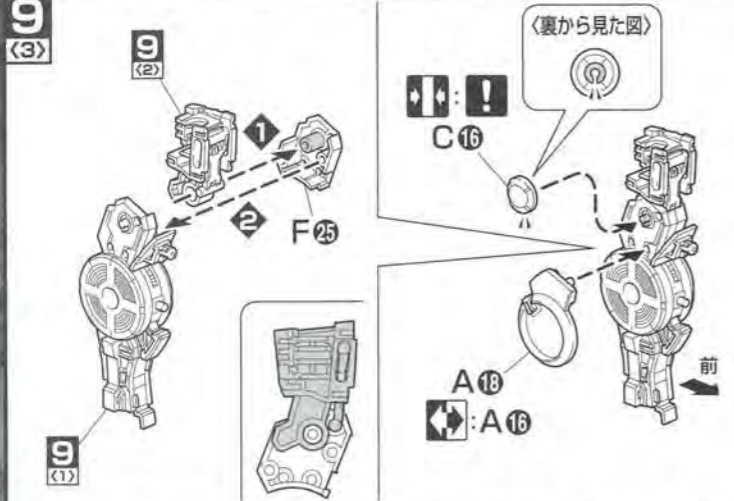
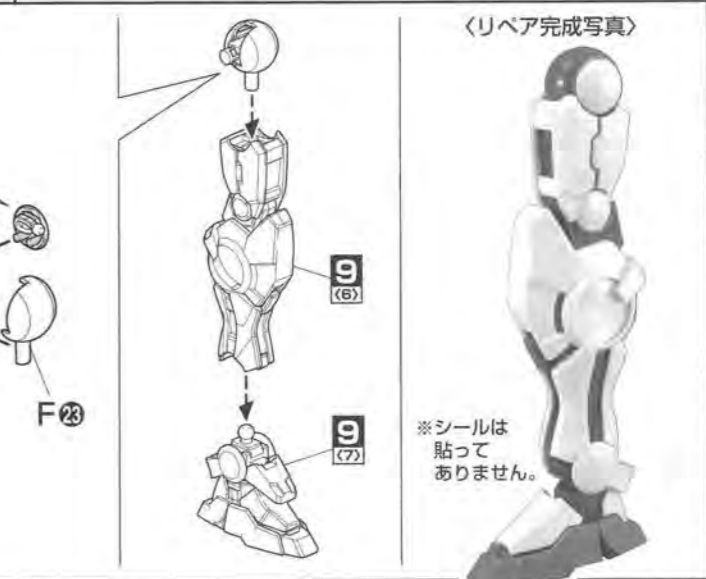
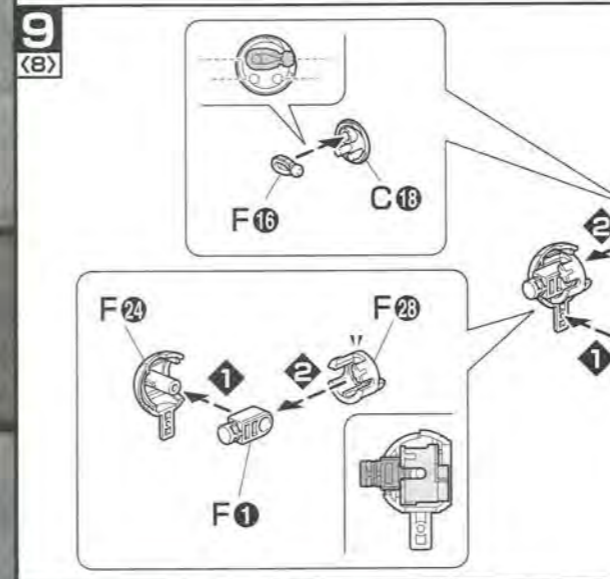
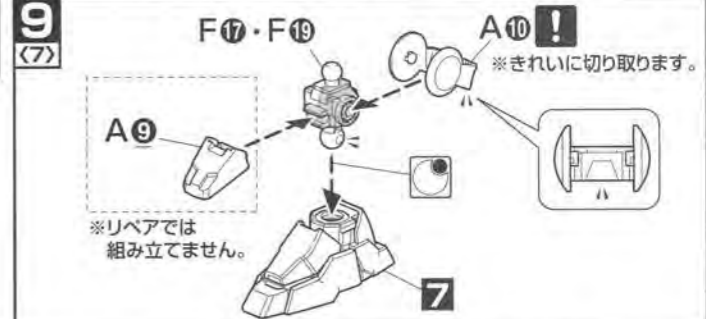
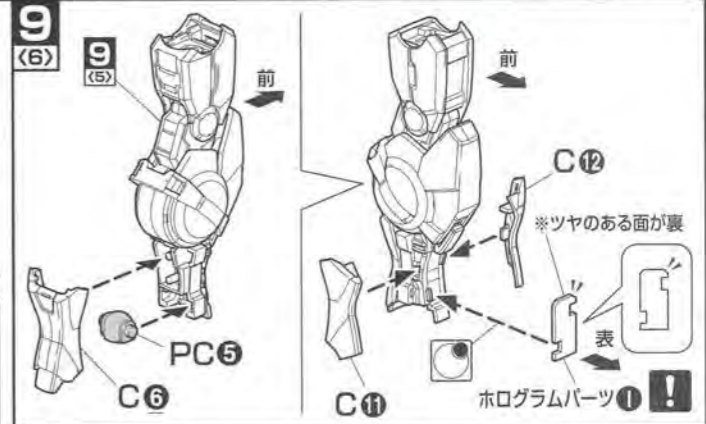
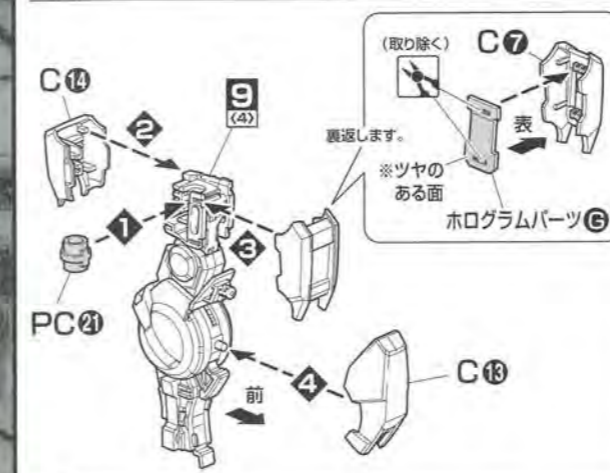
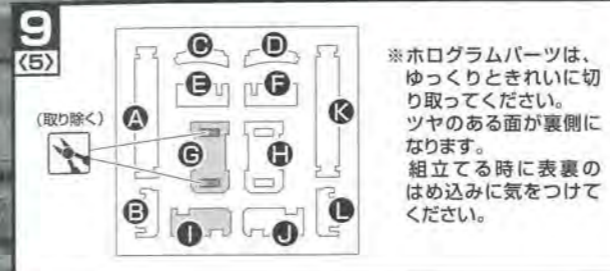
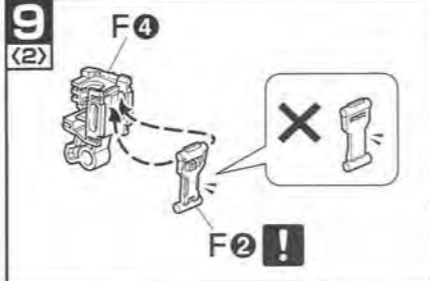
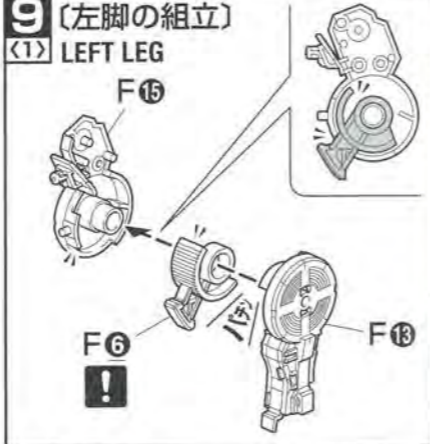
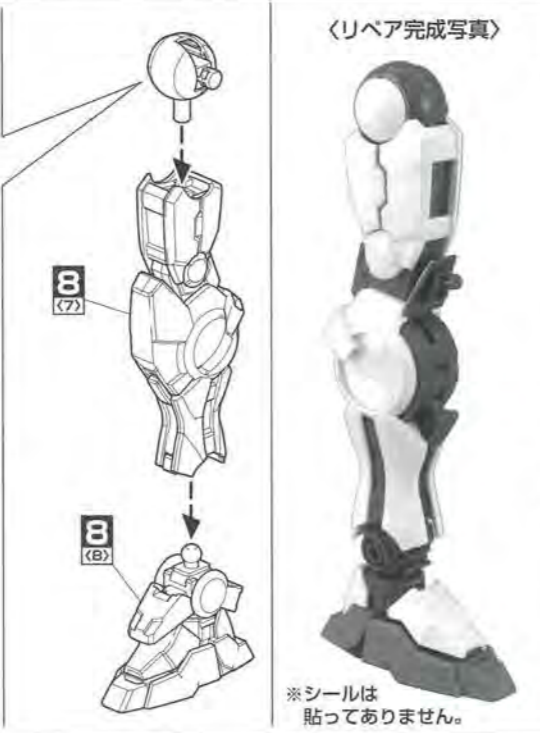
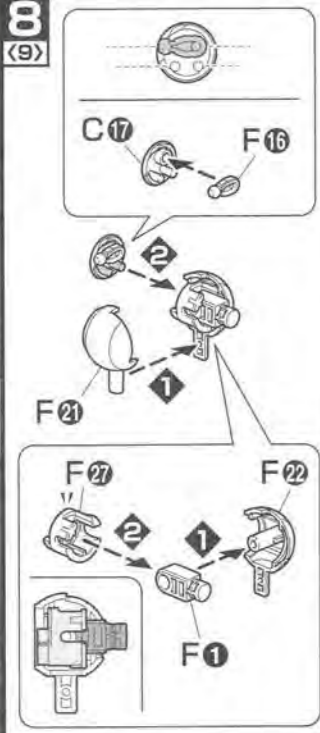
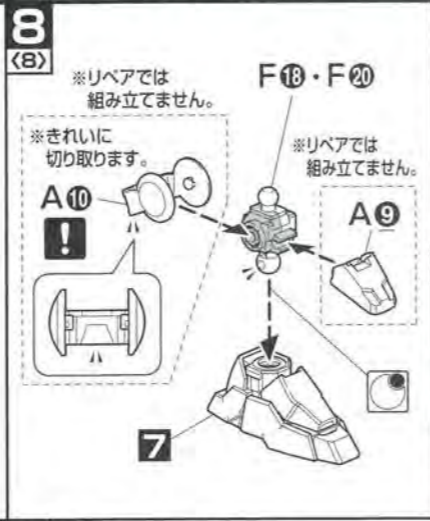
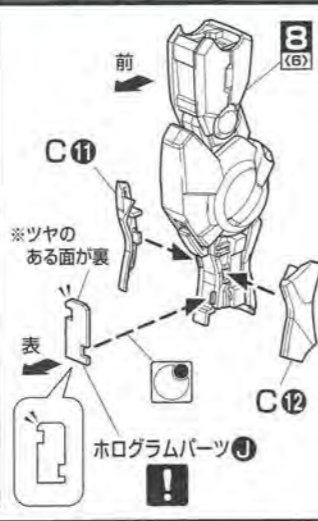
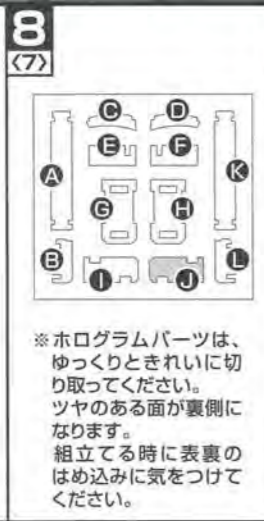
5 [左腕の組立] **(1) LEFT ARM**

※リベアを組み立てる場合は、左腕を組み立てません。



5 **(2)**

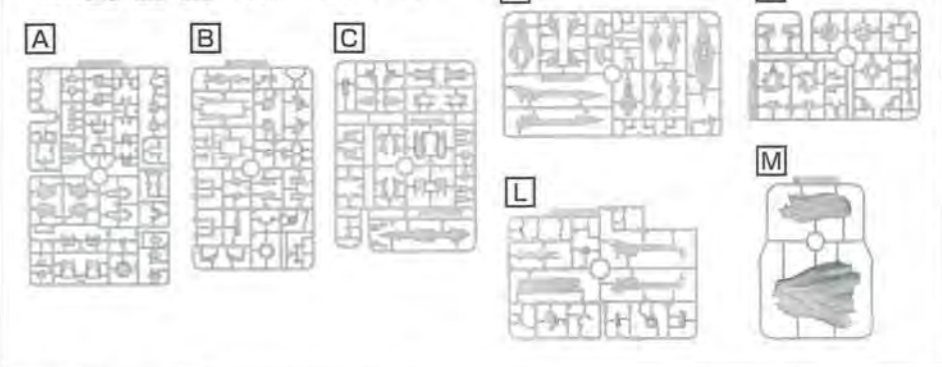




10 11 12 WAIST UNIT



・組立10・11・12で使用するパーツ

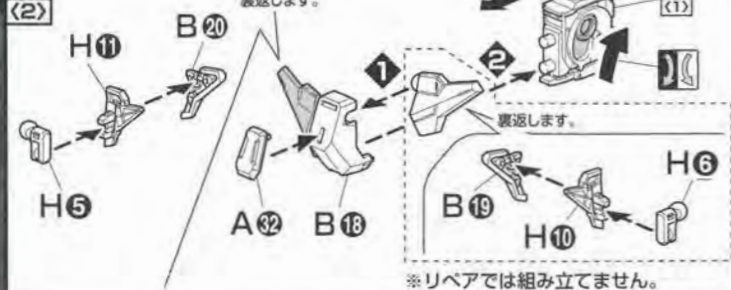


10 (腰部の組立)

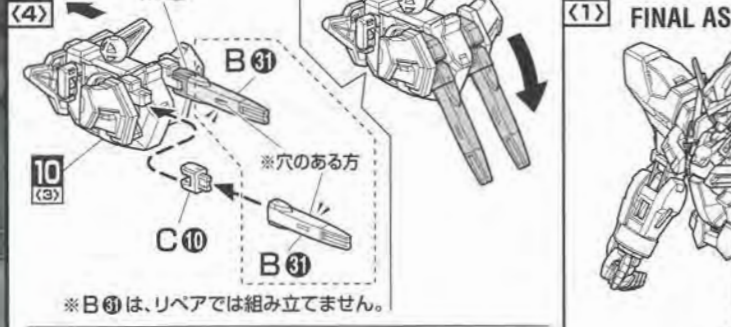
10 (1) WAIST UNIT



10 (2)



10 (4)

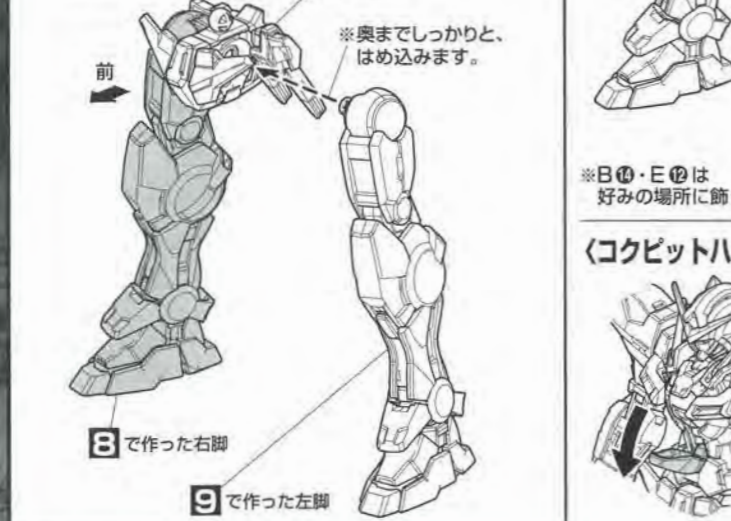


〈リベア完成写真〉

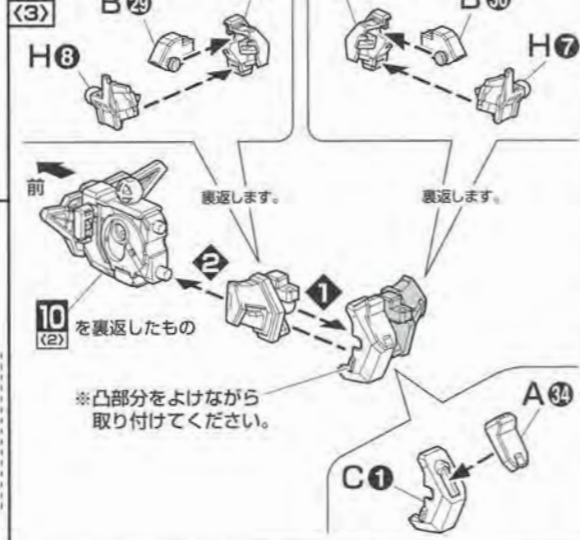


11 (下半身の組立)

11 LOWER BODY



10 (3)

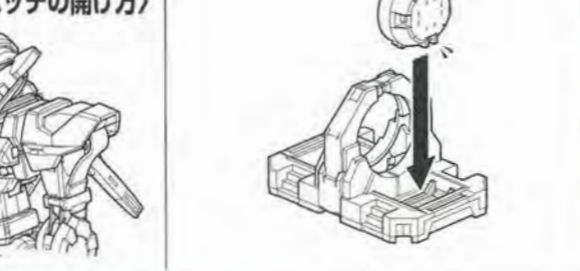


12 (完成)

12 (1) FINAL ASSEMBLE

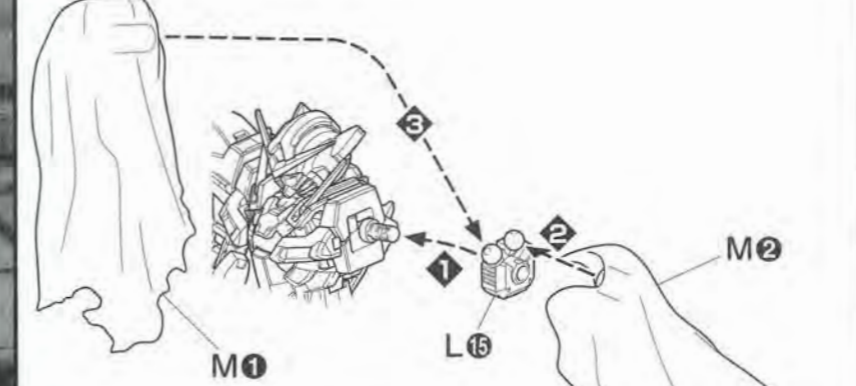


〈コクピットハッチの開け方〉



12 (2)

リベアを組み立てている場合



〈クラビカルアンテナの収納〉



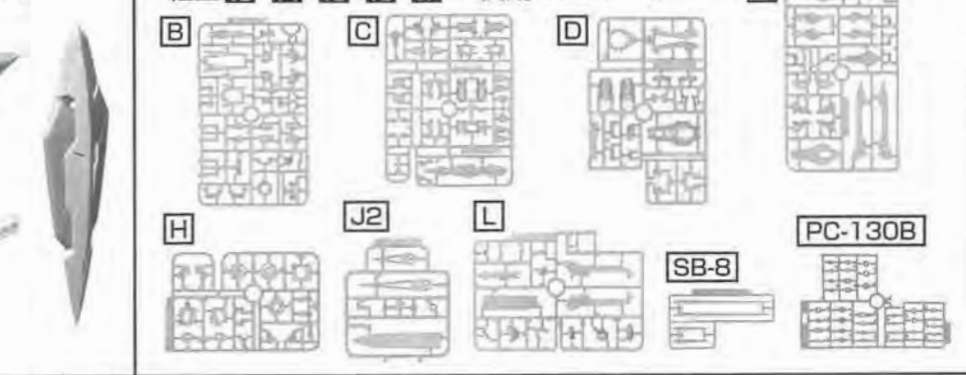
〈リベア完成写真〉



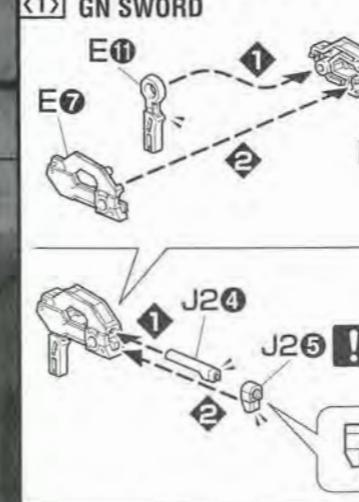
13 14 15 16 17 WEAPONS



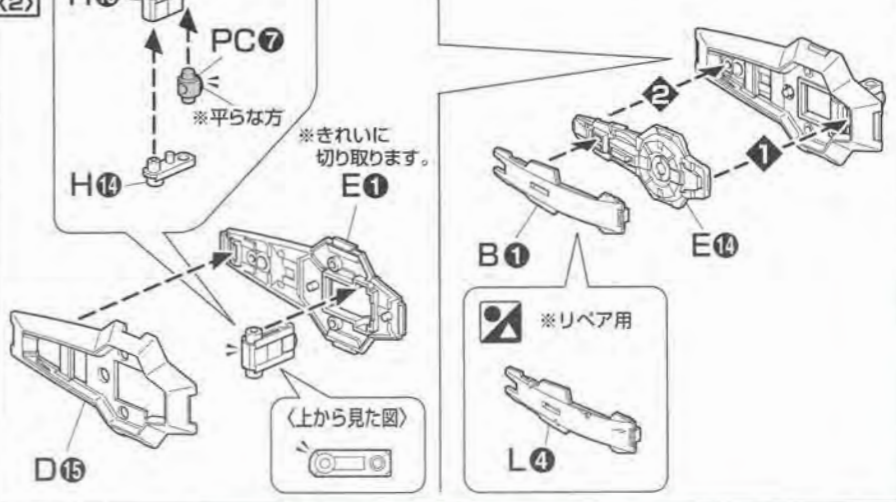
・組立 13・14・15・16・17 で使用するパーツ



13 (1) GN SWORD



13 (2)



13 **(3)**

J2⑧

E9

E8

△先端は形状再現上とがっており危険です。取り扱いや保管場所に注意してください。思わぬケガをする恐れがあります。

D11

※穴を合わせてください。

H17

H18

※リペア用

L7

L12

L10

13 **(4)**

13を裏返したものを

H12

13を裏返したものを

△先端は形状再現上とがっており危険です。取り扱いや保管場所に注意してください。思わぬケガをする恐れがあります。

〈リペア完成写真〉

14 **(GNロングブレイドの組立)**
GN LONG BLADE

※リペアでは組み立てません。

J2⑩

B3

B2

※きれいに B2 切り取ります。

E16

E18

D12

B4

短い

長い

15 **(GNショートブレイドの組立)**
GN SHORT BLADE

※リペアでは組み立てません。

J2②

B6

※きれいに B6 切り取ります。

E15

E18

16 **(GNシールドの組立)**
GN SHIELD

※リペアでは組み立てません。

E18

PC4

D12

B4

短い

長い

16 **(2)**

16を裏返したものを

D2

C20

D3

E19

17 **(武器の装備)**
WEAPONS EQUIPMENT

〈1〉 WEAPONS EQUIPMENT

17 **(2)**

SB8①

SB8②

17 **(3)**

15で作ったGNショートブレイド

14で作ったGNロングブレイド

15

〈右腰〉

14

〈左腰〉

17 **(4)**

16で作ったGNシールド

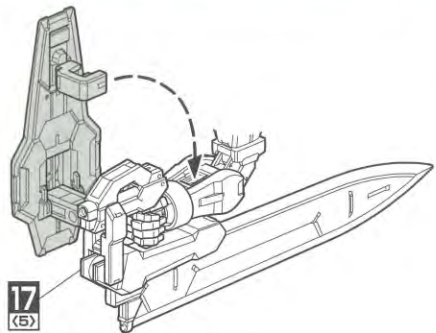
17 **(5)**

13で作ったGNソード

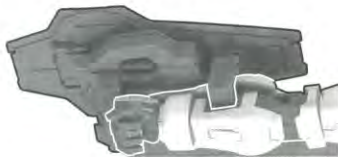
※手首の凸部に差し込んでください。

17
(6)

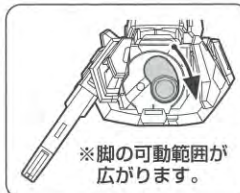
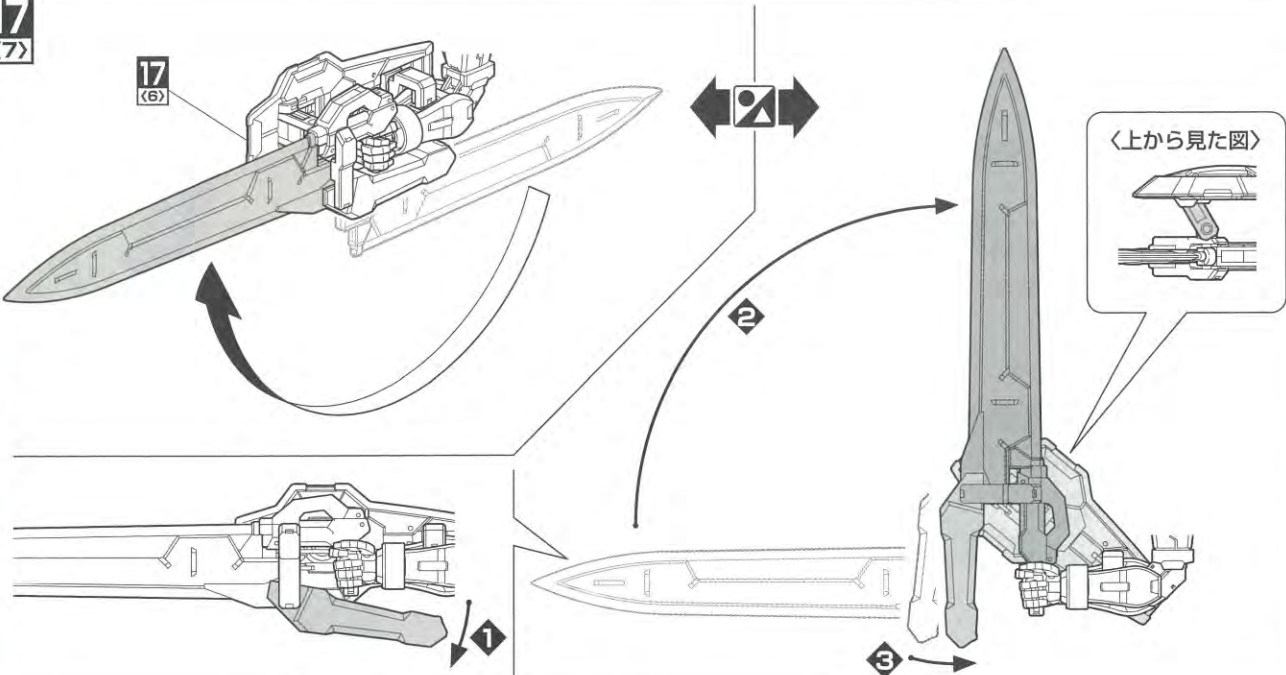
▲先端は形状再現上とがっており危険です。取り扱いや保管場所に注意してください。思わぬケガをする恐れがあります。



※写真のように手に持たせずに格納することもできます。



17
(7)



※脚の可動範囲が広がります。



H4

※バンダイプラモデルアクションベース1 (別売り) を使用してディスプレイできます。

※組立図中の記号説明

どちらかを選んで取りつける

MARKING SEAL & DECAL

Seal 下の図を見て、マーキングシールやガンダムデカールの(シール) 貼る位置を確認してください。

マーキングシールは「ひらがな」、ガンダムデカールは「数字」で表記してあります。

【例】㊸...マーキングシール ①...ガンダムデカール

【ガンダムデカールの貼りかた】 ※P3のガンダムデカールの貼り方を参考にあせらずゆっくり貼ってください。

1. 転写するマークを大きめに切ります。
2. 転写する場所に軽く押さえ、ボールペン等の先の丸い物で上から軽くこすりつけます。
3. シート部分を静かにはがし、転写していない部分があれば、もう一度転写していない部分をこすります。

このマーキングシール及びガンダムデカールはプラモデルオリジナルのもので、貼り指示は一例です。イメージに合わせてお貼りください。

エクスリアリアに貼る場合はこの貼り指示を参考にして形状に合わせてアレンジしてお貼りください。

